

間質性肺炎・肺線維症の患者さん、およびそのご家族・ご友人の方へ

新型コロナウイルス感染症に対する注意事項(No.2)

はじめに

本情報は、びまん性肺疾患に関する調査研究班が、日本呼吸器学会びまん性肺疾患学術部会と協力し、厚生労働省のホームページ内の新型コロナウイルス感染症についての情報などを参考に、“間質性肺炎・肺線維症の患者さん・ご家族向け”に重要と思われる項目を中心に要約・加筆し作成したものです。なお、本記載内容については、今後の追加情報により修正されたり、地域や時期、あるいは国内外の状況によって、対応が異なる可能性があることをご了承ください。

新型コロナウイルス感染とは？

- 「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」はコロナウイルスのひとつです。
コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスが含まれます。
- 初期症状はインフルエンザや感冒と似ています。
発熱、呼吸器症状(咳嗽, 咽頭痛, 鼻汁, 鼻閉など), 頭痛, 倦怠感などがみられます。下痢や嘔吐などは比較的まれです。においや味覚が分かりにくくなる場合があります。
- ウイルスは粘膜から体に侵入します。
ウイルスは自分自身で増えることはできませんが、鼻や口、気道などの粘膜から入り込み増殖することはできますので、粘膜にウイルスが付着しないよう注意が必要です。
- 一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。
閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
- 「飛沫感染」とは
感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
- 「接触感染」とは
感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。
- ウイルスは健康な皮膚からは感染しません。
ウイルスは、健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけとされています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつとされています。
- 手指の手洗いやアルコール消毒が有効です。
手洗いは、たとえ流水だけであっても、有効です。石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手指消毒用アルコールも感染力を失わせること

ができます。

感染予防対策

人と人との距離をとること(Social distancing: 社会的距離)、外出の際のマスク着用、咳エチケット、石けんによる手洗い、アルコールによる手指消毒、換気といった一般的な感染症対策や、十分な睡眠をとる等の健康管理を心がけるとともに、地域における状況(緊急事態宣言が出されているかどうかやお住まいの自治体の出している情報を参考にしてください)も踏まえて、予防に取り組んでください。

詳しくは【3つの密を避けるための手引き】下記の URL をご参照ください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c5>



どのように診断するか？

現時点では鼻やのどの奥からの検体を PCR 法というウイルスを増幅する検査で確認するか、ウイルスの抗原検査にて診断をします。ただし検査で陰性であっても完全に感染を否定することは出来ません。

かかりつけ医など、身近にいる医師が必要と考える場合には、患者を帰国者・接触者外来あるいは、地域において可能な施設にて検査を行うこととなります。

かかりつけ医がない、あるいは、相談ができない場合は、「帰国者・接触者相談センター」(24時間対応)に相談してください。通常、保健所に設置されておりますが詳しくは下記の URL をご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-

<kikokusyasessyokusya.html>



急性増悪との違いは？

急性増悪とは、間質性肺炎・肺線維症の経過中に、通常 1 か月以内の経過で呼吸困難の悪化を認める状態です。新型コロナウイルス感染でも急速に呼吸困難の悪化を認めることがあること

から急性増悪の原因となりえます。したがって、急性増悪が疑わしい状態においては、新型コロナウイルス感染かどうかを、臨床経過やウイルス検査結果から総合的に判断することが必要です。重要なことは、呼吸困難の急速な悪化を認める状態は、新型コロナウイルス感染か否かに関わらず重大な状態ですので、速やかに主治医に相談し医療受診をしてください。

日本呼吸器学会びまん性肺疾患学術部会
びまん性肺疾患調査研究班